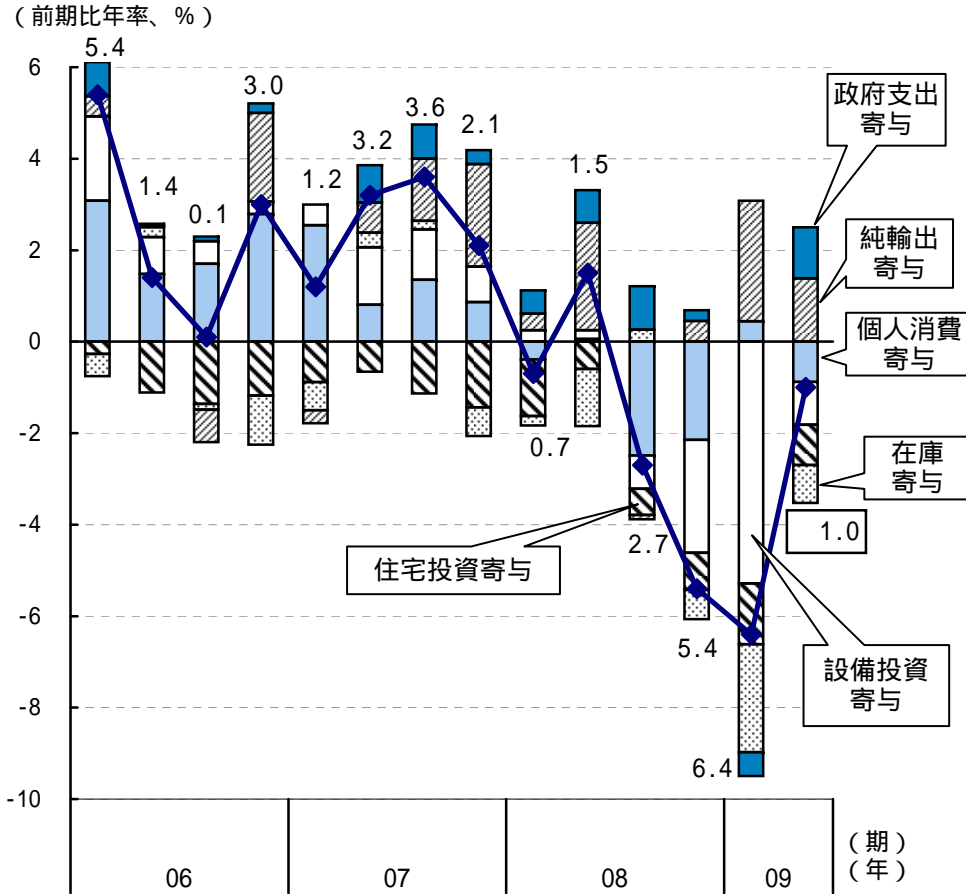


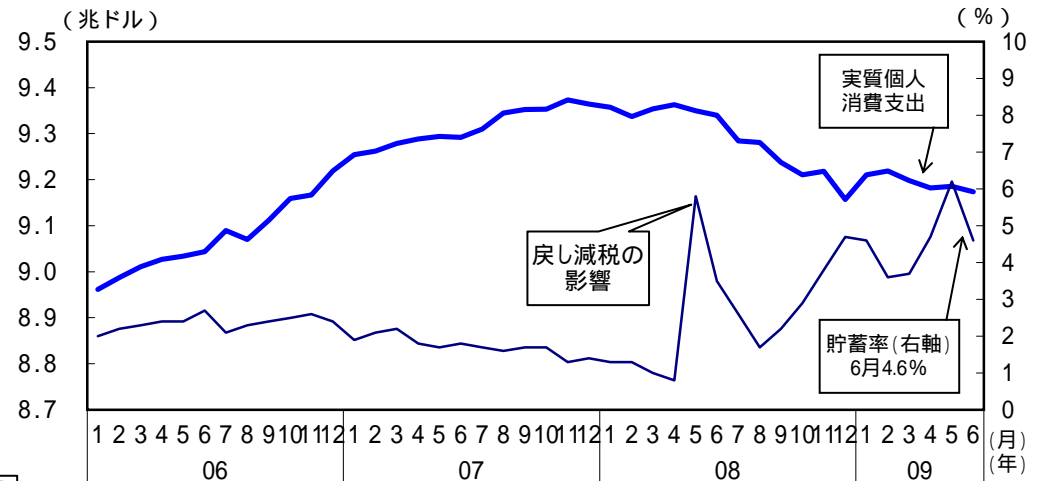
1. アメリカ

景気は後退しており、引き続き深刻な状況にあるが、収縮のテンポは緩やかになっており、一部に下げ止まりもみられる。先行きについては、金融危機と実体経済悪化の悪循環により、景気後退が長期化するリスクがある。

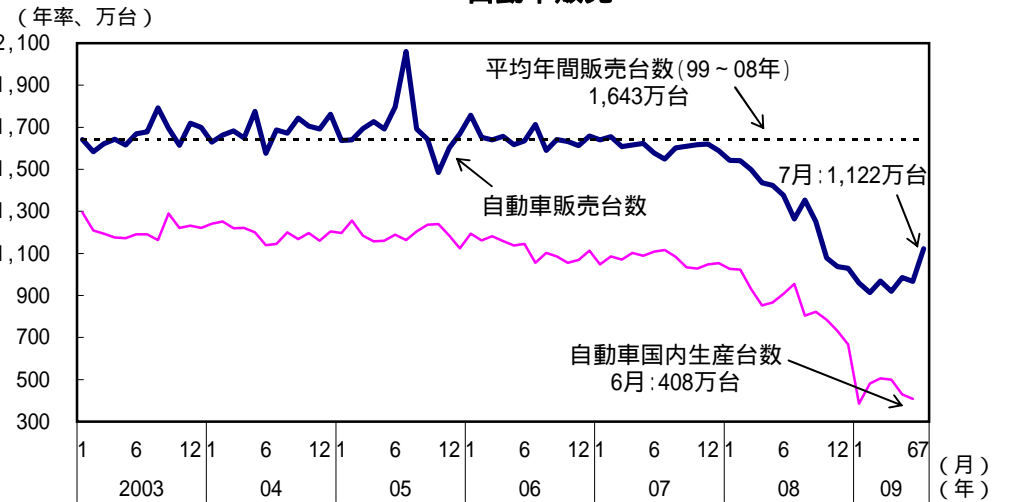
GDP：2009年4-6月期は前期比年率 1.0%成長



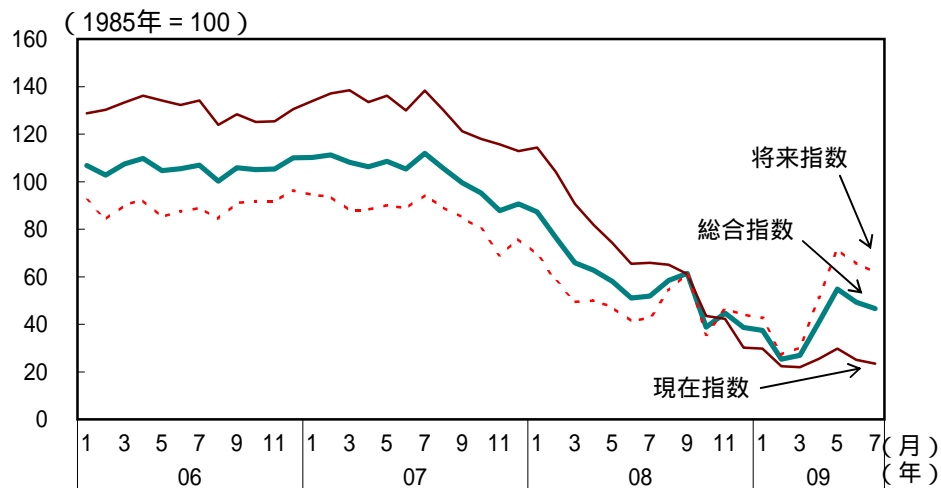
消費：消費は政策効果による下支えもあり、下げ止まりつつある。



自動車販売

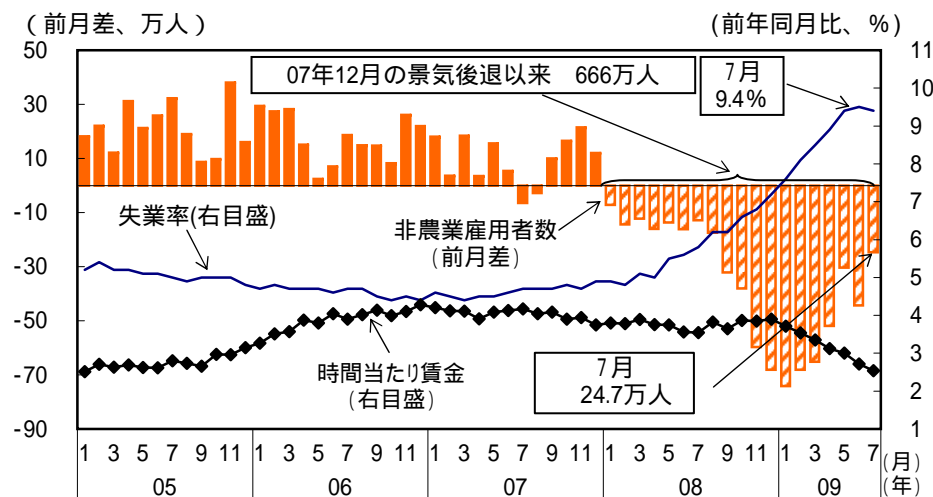


消費者信頼感指数



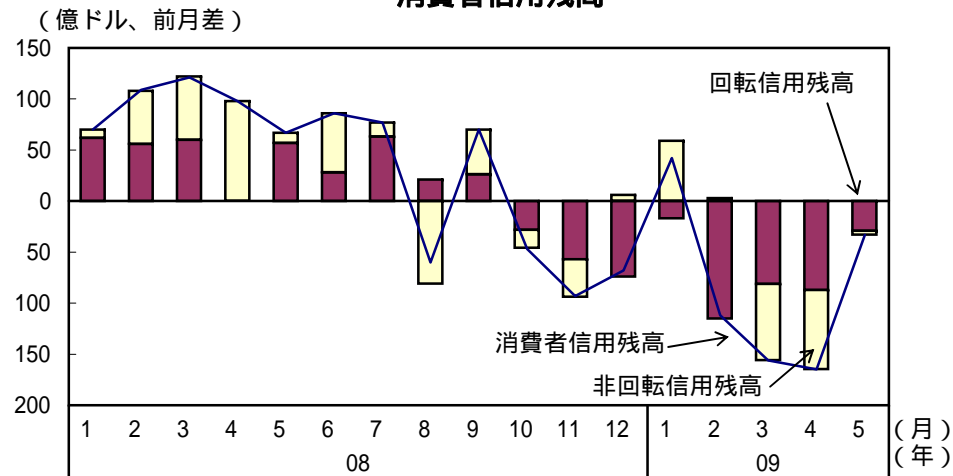
(備考) 1. コンファレンス・ボードより作成。
2. 消費者信頼感指数の「将来指数」は6か月後の見通し。

雇用: 雇用者数は減少しており、失業率は上昇傾向にある。



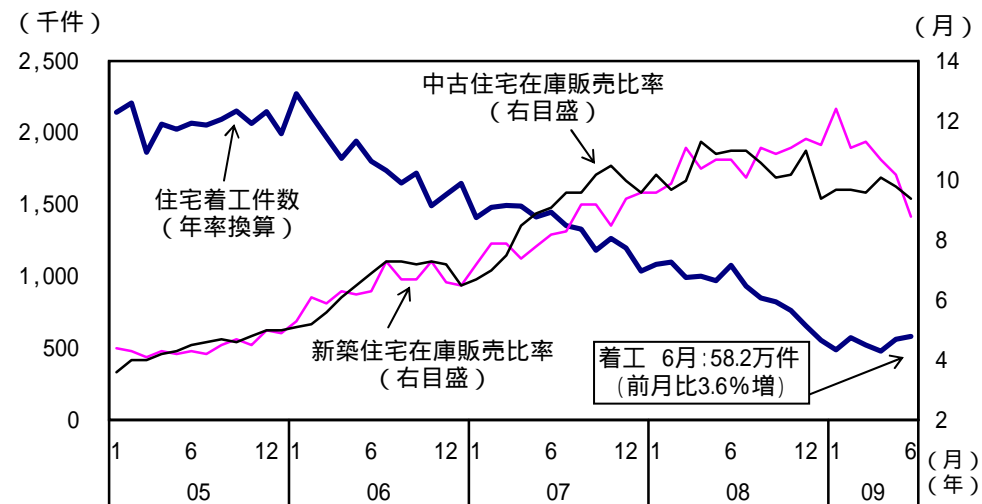
(備考) アメリカ労働省より作成。

消費者信用残高



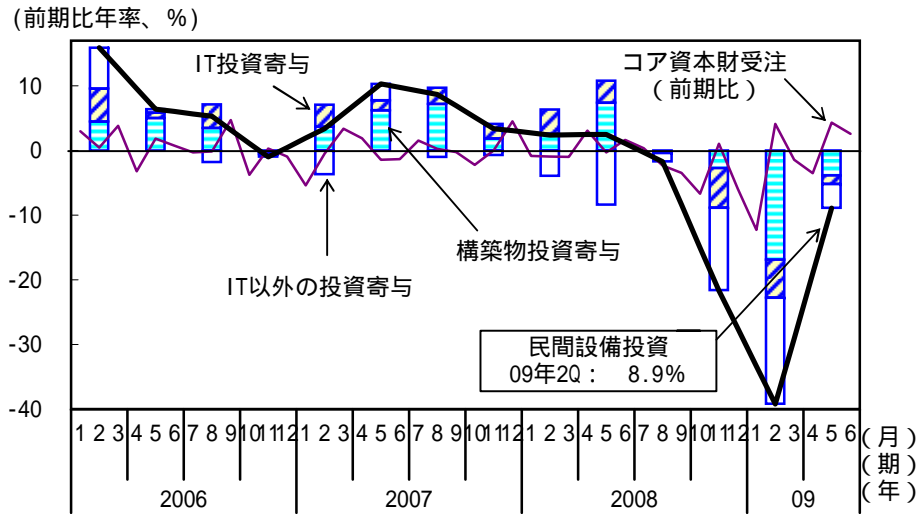
(備考) 連邦準備制度理事会 (F R B) より作成。

住宅: 住宅着工は低水準にあるものの、持ち直しに向けた動きがみられる。



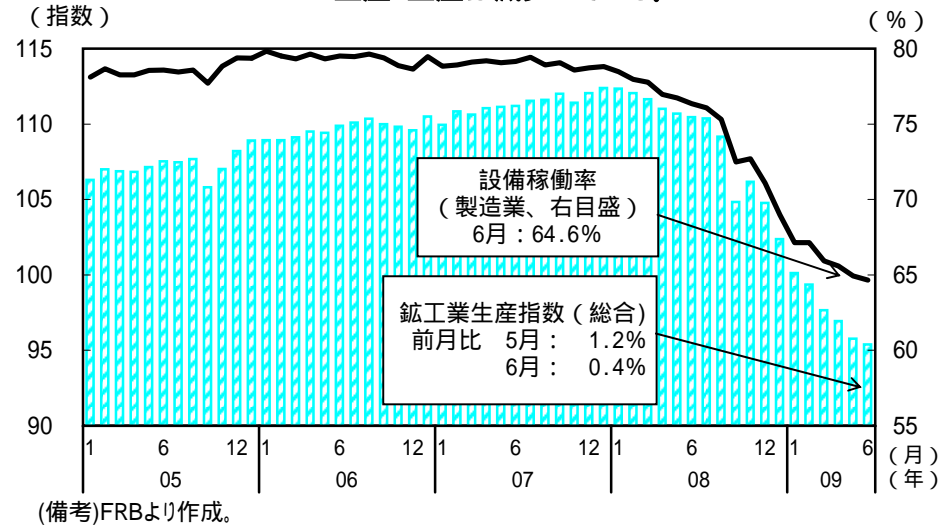
(備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (N A R) より作成。
2. 在庫販売比率は、現在の住宅販売に対して何か月分の住宅在庫があるかを示す。

設備投資:設備投資は減少のテンポが緩やかになっている。

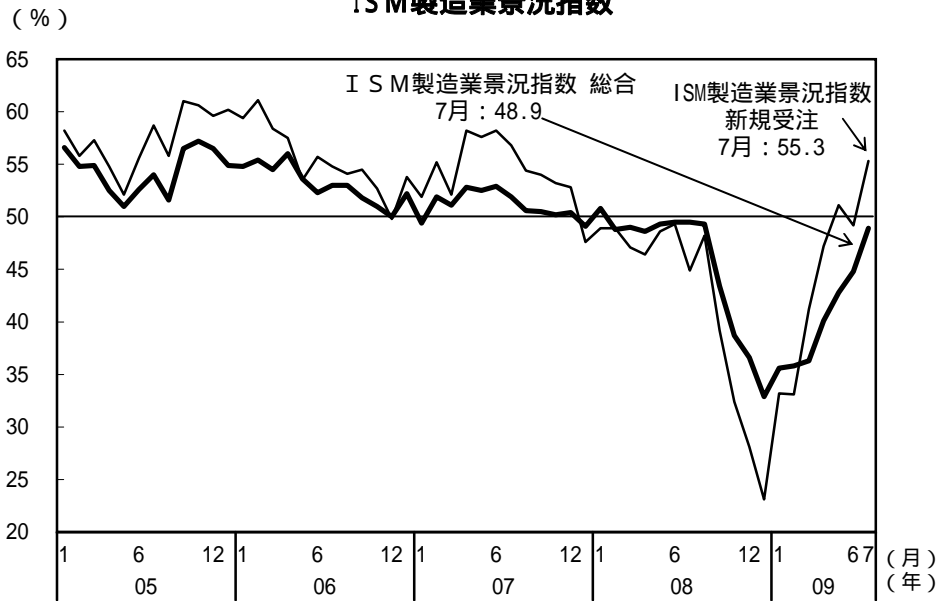


(備考)アメリカ商務省より作成。

生産:生産は減少している。

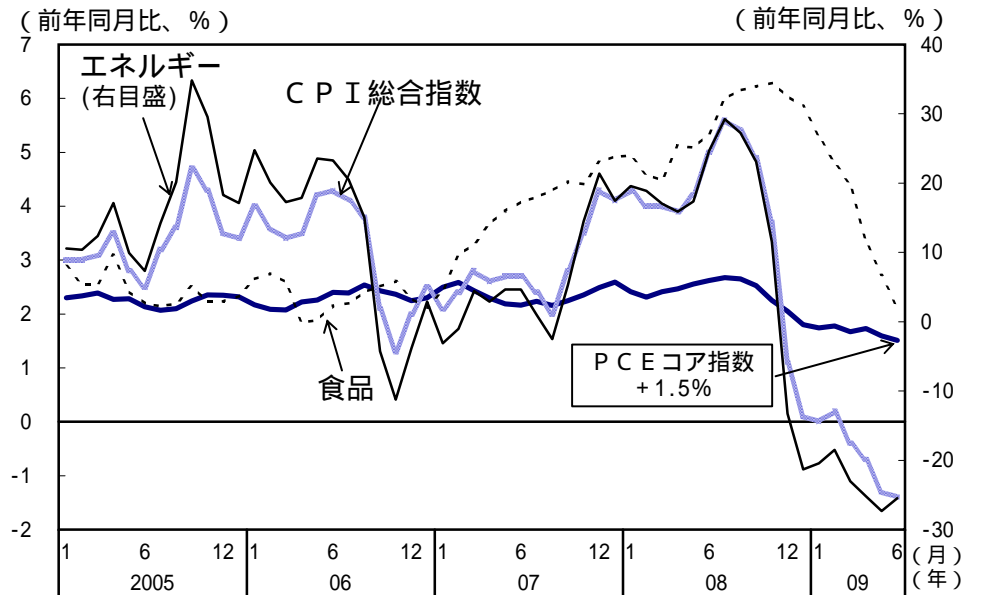


ISM製造業景況指数



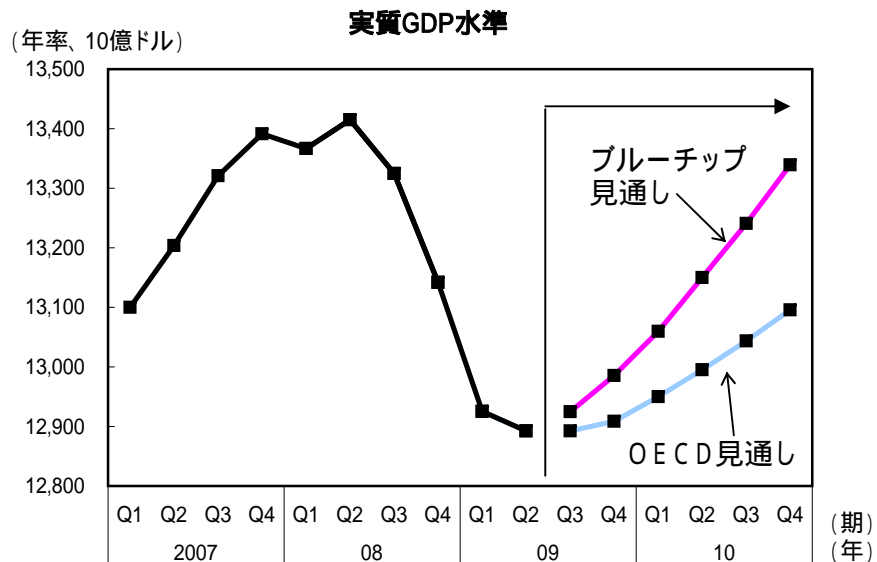
(備考)全米供給管理協会 (ISM) より作成。

物価:コア物価は落ち着きが見られる。



(備考)1. アメリカ労働省より作成。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食料を除いた指数である。

主要国際機関等による見通し



実質GDP成長率 (前期比年率、%)

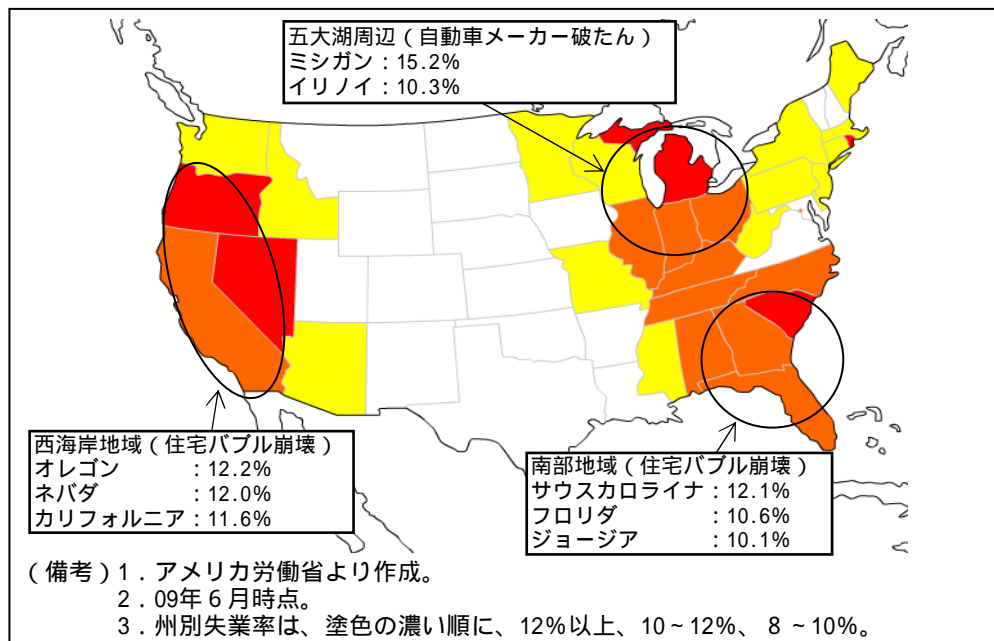
	2009年			10年			
	1	2	3	1	2	3	4
OECD	1.4	0.0	0.5	1.3	1.4	1.5	1.6
ブルーチップ	1.8	1.0	1.9	2.3	2.8	2.8	3.0

(前年比、%)

		2009年	2010年
OECD		2.8	0.9
IMF		2.6	0.8
ブルーチップ (民間見通し)	上位10社	2.3	3.0
	平均	2.6	2.0
	下位10社	3.0	1.1

(備考) アメリカ商務省、OECD "Economic Outlook 85" (09年6月24日)、ブルーチップ・インディケータ (7月10日号)、IMF "World Economic Outlook Update" (09年7月8日) より作成。

アメリカの地域別失業率



地方銀行破たん件数 (累積)

